

東北地方・太平洋地震 沖縄民医連 支援ニュース

第1号 2011年3月14日(月) 電話:098-833-3397

東北地方を襲ったマグニチュード9.0という世界最大規模の大震災は、日がたつにつれて甚大な被害が広がっています。

恐れていた原発事故も発生しています。被災された多くの人々が各地で救援を求めています。現地は、食料品、医薬品、燃料などが手に入らず、厳しい状況が続いています。

全日本民医連の呼びかけに応じて全国の県連、法人、事業所から支援が始まっています。

沖縄民医連は本14日、第1陣の支援隊6人(医師2人、看護師2人、事務2人)を派遣しました。

原国先生 先頭に第1陣 支援6人が出発

14日出発した第1陣の支援隊の職員です。(敬称略)

原国政裕(とよみ生協:医師)

清水敬史(沖協:医師)

久保田和樹(沖協:看護師)

与儀幸子(県連:看護師)

新垣 潔(県連:事務)

照屋 求(県連:事務)

支援物資・段ボール箱50個

「支援にいくからには現地に絶対迷惑かけられない」と寝袋、非常食などを含め、医薬品や支援物資を必要だと思われものを次々に準備したら、あっという間に段ボール箱、大小50個になり、航空会社と特別に相談して飛行機に搭載。太田病院の職員に特別にお世話になり、羽田空港からとりあえず支援物資を運搬保管してもらい、翌日(15日)チャーターしたバスで宮城の坂総合病院にむかうことになりました。

【全日本民医連支援ニュース(No5 3/14)より】

坂総合病院 昨夜遅く電気が通じました

☆昨夜、23:40に坂総合病院の電気が復旧しました。しかし、地震がさらに続く予測が出ており、今後の情報に注意が必要です。坂総合病院の重油は、空っぽの状態であり、重油の補給を宮城県に要請しています。

☆地域の避難所はいくつかあるものの、今日の昼はビスケット(カンパン6枚一袋)が出ただけと、想像を絶する状態です。現地職員は、支援の人たちの食料を分けてもらいながら凌いでいます。寒さ対策が必要です。ガソリンも不足しています。

☆支援物資の集中について、一両日中に正式にご案内します。当面出発する方は、下記を参考にご準備ください。(避難所の支援に活動がうつりつつあります)

- *食糧(非常食、米、野菜・果物(現地は水が不足しているので洗ってください)、缶詰など)
- *飲料水 *カセットコンロとボンベ *毛布、携帯カイロ *乾電池、充電池 *ガソリン *医療材料(点滴セット・ガーゼ・酒精綿・マスク・ガウン・注射針などディスプレイ) *インシュリン、降圧剤、消毒剤、血圧計

緊急「義捐金」募金急いでください

●全職員に訴えてください ●3/18回収です

第2陣支援隊派遣を
3/19~3/25(金)
計画します。